

環境審議会（要旨）

平成 30 年度第 5 回成田市環境審議会会議録

1 日 時 平成 31 年 1 月 18 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分

2 場 所 成田市役所 6 階中会議室

3 出席者

（委員）

本橋敬之助会長、片岡孝治委員、富井柁夫委員、小島猛委員、宮崎廣文委員

印宮昭夫委員、根本祥宏委員、西山重男委員、長谷川吉昭委員

綿貫沢委員、杉原文哉委員、林大八郎委員、岩本晃郎委員

（成田市）

小泉市長

環 境 部 石井部長

（事務局）

環境計画課 保立課長、寺本課長補佐、渡部係長、東係長、若田副主査

環境対策課 堀越課長

クリーン推進課 黒田課長、八代主幹、山倉主査

環境衛生課 加藤課長

株式会社地域計画建築研究所 長澤氏

4 傍聴者 1 名

5 会議次第

1. 開会

2. 議事

（1）成田市災害廃棄物処理計画の策定について

（2）答申について

（3）その他

3. 閉会

議事（要旨）

（１）成田市災害廃棄物処理計画の策定について

クリーン推進課八代主幹から成田市災害廃棄物処理計画の策定について説明し、小泉市長から本橋環境審議会長に諮問を行った。

（２）答申について

本橋環境審議会長から小泉市長に、成田市災害廃棄物処理計画の策定について答申を行った。

（３）その他

①住宅用省エネルギー設備設置費補助金制度の一部改正について

若田環境計画課副主査から成田市省エネルギー設備設置費補助金交付規則の改正について説明を行った。

①において出された質問は次のとおり。

（〇・・・委員の発言 →・・・事務局の発言）

○電気自動車等充給電設備について、平成31年度から廃止となっているが、どのような理由があるのか。

→補助対象となる電気自動車等充給電設備は、住宅から電気自動車に充電する機能だけではなく、電気自動車から住宅に給電できるものが対象となっておりますが、補助申請件数が僅少であるため、廃止としました。

○太陽熱利用システムについて、自然循環型を補助対象外とした理由は何か。

→太陽熱利用システムの自然循環型は、取得価格が安価であり、主に給湯のみに利用する仕組みになっていますが、強制循環型は、給湯以外に室内の暖房機能もあり、省エネ性能が高いと考えられるため、強制循環型に補助を行い、普及を図っていきたいと考えております。

○資料の中で、ベンチマークを千葉県に設定していたが、その理由は何か。また、温室効果ガスの削減は、成田市としての目標もあり、世界的にも求められていることで、今後の見通しを立て、取り組むべきである。

→成田市と千葉県を比較するために、資料に掲載しました。成田市の制度は、補助内容、申請期間等の条件が良く、住民の方が利用しやすい制度となっていると考えています。

○地球温暖化対策において、CO₂の削減は大きな課題となっており、市民が主体となって取り組んでいかなければならない。それには、お金がかからず、手軽に始めることができる取り組みが重要である。他市では、うちエコ診断を行っているが、成田市ではうちエコ診断について検討しているのか。

→うちエコ診断につきまして、今のご意見を踏まえたうえで、調査研究を行ってまいります。

○持続可能な都市のランキングにおいて、京都市が1位で、成田市は全体で850ほどの自治体の中で95であった。豊かな財政である成田市がこの順位だということは、残念なことだと思う。将来を見据えた取り組みを、早めに行ってもらいたい。

②環境審議会委員からの請求に係る資料の説明について

黒田クリーン推進課長から、一般廃棄物の減量化について、資料請求があったため、資料の説明を行った。

②において出された質問は次のとおり。

(○・・・委員の発言 →・・・事務局の発言)

○不法投棄回収件数について、遠山地区の件数がかなり多くなっているが、どのような理由があると考えているのか。

→不法投棄は、人目につかない場所で行われるので、そうした道を多く有する地区で不法投棄が多くなっていると考えています。

○他市の看板で、不法投棄の罰則1,000万円という看板を見たが、これはどのような根拠に基づいているのか。

→罰則の金額については、廃棄物に関する処理及び清掃に関する法律の中で決まっています。

○プラスチックごみの問題は、世界規模で動きを見せており、日本においては、プラスチックごみに関して、高い目標が設定されている。プラスチックの問題については、市民を巻き込み、ごみの

減量化・ごみの適正処理を十分行わなければならないと考えている。

○広報について、ページの半分ではなく1ページを使ったほうがいい。内容については、多くのことを書くのではなく、テーマを絞って書き、字の大きさを大きくするなどして、読みやすいものにしたほうが良い。

○千葉県では、給食をリサイクルしていると新聞に掲載されていた。成田市においても、CO₂を削減しなければならないことを踏まえて、生ごみやプラスチックなどを燃やさないで処理する方法を考えていかなければならないと思う。

(4) その他

- ・今後の環境審議会のスケジュールについて